

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ

Theme

国際理解

学校・園名

School name

甲賀市立小原小学校
(6年生・保護者)

講師等

Lecturer etc.

滋賀県商工観光労働部
観光交流局

実施日

Date

平成24年12月8日

教科等

Subject etc.

PTA親子活動、総合的な学習の時間

授業

Class

ブラジル出身の講師の方が、「ブラジルは、どこですか?」「ブラジルでは、なぜ多くの方がポルトガル語を話すのでしょうか?」と問いかけて、テレビの画面を使って、地図の位置を確認したり、ヨーロッパからの移民の歴史についての話をしたりしていただきました。また、ポルトガル語での自己紹介も子どもたちは体験しました。その後、ブラジルで使われる様々な道具について、クイズをされました。不思議な形をした器は、「シマホン」というマテ茶を飲む器であることや、大きな風船は、キャンディなどを入れて誕生日を祝う習慣があることなどについて教えてくださいました。最後に、講師の方が「日本にもたくさんの外国人住民がいる」ことや、「日本人でもブラジル人でもどこの国の人であっても、仲良くしてほしい」ということ、そして、「それぞれの国の習慣には、必ず深い理由がある」ことについて話されました。



感想

Impression

児童より Impression from Children

- ブラジルのことが、いっぱい聞いて楽しかったです。
- ブラジルの歴史の話に興味がありました。
- ブラジルの誕生日会は楽しそうだな…と思いました。
- 日本とブラジルは遠く離れているけれど、お米を食べるなど、似ているところもあるなと感じました。
- 友達や出会った人と仲良くしようと思いました。
- 国によって様々な違いはあるけれど、お互いに認め合うことが必要だとわかりました。

学校より Impression from school

- 「学校支援メニュー」より講師の方を紹介していただき、感謝しています。当日を安心して迎えることができました。
- 講師の方は、パソコンの画像やブラジルBOX(ブラジルで使われる道具が入っているケース)を使いながら、子どもたちの集中を切らすことなく学習を進めてくれました。子どもたちは、話を聞いたり、メモしたりすることでしっかり学習できたと思います。

講師より Impression from lecturer

- 今回の授業は親子でブラジルや滋賀県に住んでいるブラジル人などの外国人住民について学ぶいい機会だったと思います。
- クラスには外国にルーツを持つ子どももいたので、外国人の子どもがなぜ同じクラスと一緒に勉強しているかが、少しでもわかってもらえたと思います。